

2015年理系第1問



1 $a > 0, b > 0$ とする. xy 平面において, 原点を通る傾き正の直線が, 直線 $y = -a$ と交わる点を P とし, 直線 $x = b$ と交わる点を Q とする. P の x 座標を p とし, 線分 PQ の長さを L とおくと, 次の問いに答えよ.

- (1) L^2 を a, b, p を用いて表せ.
 (2) a, b を定数とし, p を $p < 0$ の範囲で変化させるとき, L^2 を最小にする p の値を求めよ.
 (3) (2) で求めた p の値を p_0 とする. また, c を $a^{\frac{2}{3}} + b^{\frac{2}{3}} = c^{\frac{2}{3}}$ を満たす正の実数とする. $p = p_0$ のときの L^2 の値を c を用いて表せ.

(1) $P(p, -a)$ であり, $-a \neq 0$ より $P \neq O$ (原点)

\therefore この直線の傾きは, $-\frac{a}{p}$ である \therefore 直線の式は $y = -\frac{a}{p}x$

$\therefore Q(b, -\frac{ab}{p})$ となる.

$$\therefore L^2 = (p-b)^2 + (-a + \frac{ab}{p})^2 \quad \therefore L^2 = (p-b)^2 \left(1 + \frac{a^2}{p^2}\right) //$$

(2) (1) で求めた P の関数を $f(p)$ とおくと.

$$\begin{aligned} f(p) &= 2(p-b) \cdot \left(1 + \frac{a^2}{p^2}\right) + (p-b)^2 \cdot \left(-\frac{2a^2}{p^3}\right) \\ &= \frac{2(p-b)}{p^3} \cdot (p^3 + a^2b) \end{aligned}$$

$\therefore a > 0, b > 0$ より, $p < 0$ の範囲で $f(p) = 0$ となるのは, $p = -\sqrt[3]{a^2b}$

\therefore 増減表は右のようになる.

p	\dots	$-\sqrt[3]{a^2b}$	\dots	(0)
$f(p)$	$-$	0	$+$	
$f(p)$		\downarrow		\uparrow

$\therefore L^2$ を最小にする p は, $p = -\sqrt[3]{a^2b} //$

(3) $p = p_0 = -\sqrt[3]{a^2b}$ を (1) で求めた L^2 の式に代入して.

$$\begin{aligned} L^2 &= (-\sqrt[3]{a^2b} - b)^2 \left(1 + \frac{a^2}{a \cdot \sqrt[3]{ab^2}}\right) \\ &= (\sqrt[3]{a^2b} + b)^2 \cdot \left(1 + \frac{\sqrt[3]{a^2}}{\sqrt[3]{b^2}}\right) \\ &= (\sqrt[3]{a^2} + \sqrt[3]{b^2})^2 \cdot (\sqrt[3]{b^2} + \sqrt[3]{a^2}) \\ &= (a^{\frac{2}{3}} + b^{\frac{2}{3}})^3 \\ &= \underline{\underline{c^2}} // \end{aligned}$$